

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成30年02月15日

計画の名称	歩行者の安全を確保する道路環境整備（防災・安全）												
計画の期間	平成29年度～平成29年度（1年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	横須賀市												
計画の目標	通学路の緊急合同点検等の現地調査の結果、歩道設置、交差点改良等の整備が必要となった箇所の交通安全対策に取り組み、歩行者の安全・安心な道路環境を整える。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	42	A	42	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	通学路の緊急合同点検等によって抽出された要対策箇所の歩車道の整備率15%（H29）から84%（H33）に拡大する。 通学路の緊急合同点検等によって抽出された要対策箇所の歩車道の整備率 整備率（%） = {（実施済建物調査費+実施済用地補償費+整備済工事費） / （委託料+用地補償費+工事費）} ×100	15%	%	84%
2	通学路における安全の確保率を68%（H29）から87%（H33）に拡大する。 通学路における安全の確保率 通学路における安全の確保率（%） = 対策解消箇所の児童数/要対策箇所の児童数×100	68%	%	87%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—
システム上、H30から別計画とする。								

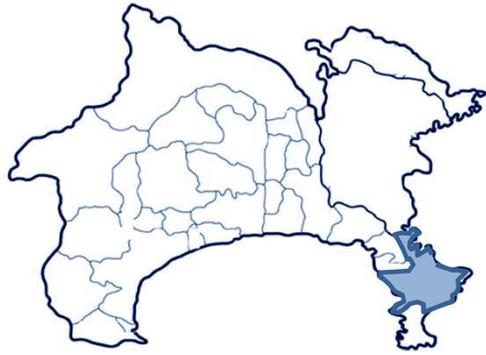
A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	H32	H33			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	横須賀市	直接	横須賀市	S街路	改築	都市計画道路 市内環状 線（第1期） (1-A1)	現道拡幅 L=0.19km	横須賀市	■					42		—
											小計						42		
											合計						42		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H29				
配分額 (a)	0				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d- e- f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

計画の名称	歩行者の安全を確保する道路環境整備（防災・安全）		
計画の期間	平成29年度～平成29年度（1年間）	交付団体	横須賀市



事前評価チェックシート

計画の名称： 歩行者の安全を確保する道路環境整備（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画等の整合性	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標と整合性）	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性	
②定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性）	○
III. 計画の実現可能性	
②地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	○